

2020/10/2-2

(うとQ世話し そう考えた方が「なんぼもマシ」ちゃいまっか?)

何か苦しいことや辛いことが続けざまに起きた時に

「耐えろ、我慢しろ、そのうちいいことがあるから」

の連発ではいくら何でも持ちません。一回くらいならいいでしょうが。

しかも

「そのうちいいことがあるから」

等という気休めや保証のバックグラウンドもよく分からない口約束を言われては、かえって気が滅入ってしまいます。言った相手との立場の違いや計測不能な程の距離を感じて。

ならばどうすればいいのか?

自分はあることをテレビの特集からヒントを得ました。

何でもその特集によれば、さる国の技能実習生が喜んで我が国の介護施設で働きたいと言っているというのです。

その理由は

「困っている人をこの世にいるうちにたくさん助けてあげると、それは功德を積むことになり、天国にかなり近づける」

という考え方によるのだそうです。

自分は、宗教方面はほとんど門外漢にも等しいので、あまり詳しいことはわかりませんが、上記の話をこう解釈してみてもはどうだろうと思いました。

「要するに、プラスに考えればいいのだろう」

と。

「耐えろ、我慢しろ」というのは爆発係数 100 を 100 のまま維持せよ。どんなに苦しいことや辛いことが追加的に加算されても。

或いは 100 を 0 にせよとか、それはもう非科学的というものでしょう。

ならば、100 からの減算式ではなく、ゼロからの加算積み上げ式に置き換えればいいのか?

という事です。

耐える、我慢するだけではなく、それを「解決しようとする行動を起こす」

起こして上手くいくか行かないかは二の次にして、とにかくその経験を積むこと自体で 1 ポイント、2 ポイントと加算していくわけです。

そうすれば「行動した結果が良好であってもなくても行動を起こしたことそれ自体に 1 ポイント加算」ですから、遣ったもの勝ち、参加したもの勝ちになりますでしょうか?

(失敗はない。ただ経験があるのみの考え方から)

そういう「プラス思考をした方が、なんぼもマシ、やんか」

と思った次第。

「しなはれ、しなはれ、ドンドンやっておくれやし」

こういうイケイケどんどんは、誠に結構至極なような気がいたします。